環境ボランティアサークル亀の子隊

渥美半島 西の浜クリーンアップ活動

2021年7月22日（木）海の日10：00～11：00

Dポイントあたりの海

海はすべての命の源です。
私たちは、
大昔の人たちのように
もっともっと
海を大切にしなければ
ならないと思います。
そして、
21世紀に生きる私たちは
きれいな海を守っていきたいと
思います。

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

『この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。』

環境ボランティアサークル亀の子隊
連絡先０９０　９１２３　７９８３

みんなで、きれいな海を
守りましょう

この活動は『セブンイ-レブン記念財団の助成』『あいち森とみどりづくり助成』『未来のみなとづくり助成』を受けています。

亀の子隊ＵＲＬ：http://www.kamenoko.org ホームページ訪問者40750を超えました。

亀の子クラブ

環境ボランティアサークル　亀の子隊　通信　　NO. 240　2021年06月23日号
発行責任　亀の子隊事務局

どんと、100人 380Kg

西の浜クリーンアップ活動
2021年06月20日
参加者数　100名
ゴミの総重量　380Kg

前日の激しい雨も上がり、気持ちよい日となりました。６月６日は雨天中止となったので、今回こそは、と願っていました。

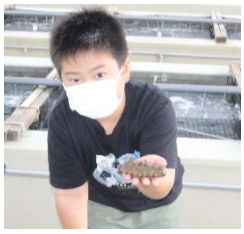
時間が近づくと続々と参加者がやってきました。大勢だったこともあり、中心から離れたところに車を止めなければならず、止めてから時間がかかったのか、開会に間に合わない人たちもいました。

今回の活動場所は、雨天中止となった６日の予定だった場所です。あれから、２週間、荒れた天気の日もあり、浜のゴミは増えていたように感じました。まだ新しい釣りえさの入れ物もありました。コロナの関係で釣り人も増えているので中にはマナーを知らない人もいるようです。直径３０Ｃｍくらいの黒い管、車のバンパーやボートのオール、などもありました。焼けて溶けて固まったプラスチックの塊もありました。

参加者が大勢だということで活動範囲を３００Ｍほどに広げました。活動が始まると、見る見るうちにゴミが運ばれてきます。ドリームの会の１年生４人が運んできたのは「ドア」。はがれたアルミも一緒です。堤防の下にあったというので、これは上から捨てられたものかなぁ、と思います。残念ですね。まだまだ、こうした不法投棄があります。堤防の階段近くには、鉄の棒も数本ありました。

子どもたちが主体の活動ということで、隊員の様子を紹介することが多いですが、実際参加してくれる大人の人の力には、やはり感心します。拾い集める、運ぶなど動きが速いです。初めから３袋もらって活動し、いっぱいになった袋をまとめて運んできたり、何度も集約場所に運んで来て新しい袋を持って行ったりしてくれます。

栽培漁業センター見学会



２０２１年度、第３回目の海の環境を学ぶ会として、西の浜から２Ｋｍ弱のところにある「愛知県栽培漁業センター」見学会を行いました。愛知県では唯一の施設です。クルマエビ、トラフグ、ガザミ、アユ、アワビ、ナマコ、トラフグを種苗生産しています。普段、土日は閉められています。亀の子隊の学ぶ会ということで、特別に所長さんが相手をしてくれました。

参加者は種苗生産のための大きな水槽に驚き、生産された２～３ミリのガザミの姿に感嘆し、大きなクルマエビを見ると、「わぁ一食べたい」と正直な感想。ナマコの水槽では、手にとっていいよ、ということで水槽の壁についているナマコを手で取って感触を楽しんでいました。愛知県の海のことを学ぶことができました。

ところで、みなさん、愛知県の魚は何だか知っていますか？

２０２１年０７月の活動は２２日（木）海の日です。大勢の力できれいな海を守りましょう。